

科目・コース（ユニット）名： 腎・泌尿器（骨の科学と脆弱性骨折予防）
英語名称：Nephrology・Urology（Bone Science and Fragility Fracture Prevention）

【担当責任者】

コーディネイター：風間順一郎（腎臓高血圧内科）

分野担当責任者：大平哲也（疫学講座）、山口明子（産婦人科学講座）、
山田仁（寿泉堂総合病院整形外科）

【連絡先】腎臓高血圧内科学講座 jjkaz@fmu.ac.jp

【開講年次】2年，【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】講義

【概要】

ロコモティブ症候群は超高齢社会を迎えたわが国において国家や国民に対する巨大な脅威となりつつある。脆弱性骨折は、このロコモティブ症候群を起こす原疾患の中でもある程度予防が可能な疾患であるが、しかし、わが国においてその対策は遅れている。本ユニットではこの分野の先進国である英国型の脆弱性骨折予防活動がわが国にも根付くことを目的として、そのための基礎知識である骨生物学＋ミネラル代謝学＋疫学＋骨粗鬆症学＋脆弱性骨折予防学を各分野のエキスパートたちがオムニバス形式で講義し、これを踏まえて実際の症例に対する方針を総合討論する。

【学習目標】

1. 骨生物学の概要を理解できる
2. ミネラル代謝の概要を理解できる
3. ロコモティブ症候群がわが国に及ぼしている脅威を知る
4. 骨粗鬆症の病態を理解できる
5. ライフイベントと骨代謝の関係を理解できる
6. 脆弱性骨折の予防法を理解できる
7. 社会の脆弱性骨折を減らすために、自分に何ができるか、何をすべきかを知る

【教科書】指定しない

【参考書】骨ペディア 骨疾患・骨代謝キーワード事典 日本骨代謝学会編 羊土社 2015

【成績評価方法】

2年から3年への進級評定には関与せず、試験も行わない

3年前期の腎・泌尿器の試験範囲に含まれるため、この講義内容を理解して試験に正答することは3年から4年への進級の際に必要な条件となる

特別な事情がない限り、5コマの授業にはすべて出席すること

なお出欠確認に際して不正行為があった場合は、たとえ故意ではなくても3年時の腎・泌尿器試験の受験資格を喪失し、異議申し立ては認めない

不正行為が判明しても不正者が特定できない場合、出席者を含む学年全員がそのコマを欠席したものとして扱う

【学習上の注意事項】

オムニバス型の講義なので、一コマ一コマ全集中で聴講すること
それぞれの講義の内容を踏まえた上で総合討論に臨むこと

【垂直的統合授業の実施内容】

垂直型統合的授業の形式はとっていない

【水平的統合授業の実施内容】

本講義は、全体が解剖学・生理学・疫学・婦人科学・内科学・整形外科の枠を超えた水平型統合授業である。一部には薬理学の要素も含まれる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

遅れているわが国の脆弱性骨折対策への一つの提案として、2018年に福島では診療科横断型脆弱性骨折予防プロジェクトである「Project F」が立ち上げられた。このプロジェクトは「福島の脆弱性骨折を減らす」という将来のアウトカムを設定して、これを実現するために現在すべきことを診療科横断的に模索し行動することを旨としており、他に例を見ない先進的かつ野心的な試みである。学生への啓発活動はプロジェクトFの重要な課題の一つあり、このために本教育プログラムが立案された。なお、骨ミネラル代謝学、内分泌学、骨生物学、疫学、内科学、婦人科学、整形外科をワンセットにする教育プログラム自体が国内初の試みであり、将来には福島モデルとして注目を集める可能性がある。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2027/1/13	水	2	(講) 脆弱性骨折・ロコモティブ症候群の社会へのインパクト	大平哲也
2	2027/1/13	水	3	(講) 骨生物学総論	風間順一郎
3	2027/1/20	水	1	(講) 脆弱性骨折対策	山田仁
4	2027/1/20	水	2	(講) ライフイベントと骨の健康	山口明子
5	2027/1/20	水	3	(総合討論) この症例の脆弱性骨折を防ぐためには何をしたらよいか?	全教官

【担当教員】

教員氏名	職	所属
風間順一郎	教授	腎臓高血圧内科学講座
大平哲也	教授	疫学講座
山口明子	准教授	産婦人科学講座
山田仁	部長	寿泉堂総合病院 整形外科

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する